

緑のまち

発行 財団法人 日野市環境緑化協会

〒191-0016 東京都日野市神明2-13-1 電話 042(585)4740



日野市ガーデニングコンテスト

まちを歩いていると丹精込めた花いっぱいの庭や花壇、ベランダ、窓辺などいろいろな形で美しい草花が植えられ、ガーデニングを楽しまれている方々を見かけます。

この花好きの方に応募していただき、昨年からはガーデニングコンテストを行っています。

上の写真は受賞された方々のお庭です。ほとんど毎日庭に出て草や木の手入れをしているようで、他の方のお庭も拝見したいとの要望があったため見学会も行いました。

花好きの方がどんどん増えて、緑と花で潤いのあるまちづくりが進められれば良いと思っています。

平成18年度 事業計画・収支予算

I. 緑化推進に関する啓発普及事業

●春の緑化月間

- (1) スプリングフェスタひの(4月上旬) …… 実行委員会と協力して"さくら"を楽しむ催しを開催します。
- (2) さくらの集い(4月上旬) …… 多摩川堤のオオシマザクラのお祭りを地元と協力して開催します。
- (3) 山野草盆栽水石展(4月中旬) …… 趣味の作品を持ち寄って展示します。
- (4) 自然観察会(4月中旬) …… 昔懐かしい日野の風景、レンゲ畑を地元農家のご協力で再現し観察します。
- (5) 緑のリサイクル(4月下旬) …… 市民より提供していただいた植物を配布します。
- (6) ガーデニングコンテスト(6月上旬) …… 各家庭で行われているガーデニングを発表していただきます。

●緑化講習会の開催

- (1) 家庭果樹の健康管理講習会(5月下旬) …… 樹木医を招き、家庭果樹について学びます。
- (2) 庭木の手入れ講習会(10月上旬) …… 基本的な庭木の剪定方法を学びます。
- (3) 稲わら竹細工講習会(12月上旬) …… 身近な材料を使って、参加者ご自身の作品をつくります。
- (4) 正月の寄せ植え講習会(12月中旬) …… 寄せ植えの基本を学び、正月飾りを作ります。
- (5) 春の草花管理講習会(2月中旬) …… 草花や土の管理方法などを学びます。
- (6) ガーデニング講習会(3月下旬) …… 種々多様な草花を使ってのガーデニング作りを学びます。

●緑の募金(推進期間4月1日～5月31日)

例年多くの皆様よりいただいた募金の還元金を、市内の緑化に役立てています。心より厚く御礼申し上げます。

●コスモスアベニュー事業(日野市と共催)(6月～11月)

種まきから種の収穫まで、市民参加のいろいろなイベントを行います。

●子ども昆虫教室(7月中旬)

専門の先生を招き、お話を聞きながら実際に昆虫採集や観察などを行う小学生対象のイベントです。

●会報「緑のまち」発行(10月)

会報「緑のまち」第32号を発行し、日野市内全域に新聞折込します。

●秋の緑化月間

- (1) 菊花展・菊花コンテスト(10月下旬～11月上旬) …… 一般市民の部・老人クラブの部・小学校の部に分かれ、応募作品の展示、審査、表彰を行います。
- (2) 緑の写真展(12月上旬～12月中旬) …… 一般募集した作品を市役所1階ロビーに展示します。

●作文集「緑のまち」発行(12月)

市内小学校4・5・6年生を対象に募集した環境についての作文及びカットを市内小学校7人の先生方に審査していただき、優秀賞・優良賞を選考して作文集として発行します。

●雑木林ボランティア養成基礎講座開催(日野市と共催)(10回/年)

雑木林を保全するため、手入れの方法や道具の使い方、緑地の歴史等を学ぶ講座を開催します。

II. 緑化推進に関する事業活動

●公園・公共施設等への花卉植付け(年間)

市内の公園・公共施設等にある花壇やプランターに、年間3～4回四季折々の花を植付けます。

●花の交流広場(年間)

市民の皆様から提供していただいた花の種を、希望者に配布しています。

●菊花栽培事業(年間) ……市の花「菊」の栽培

- (1) カサ菊の苗配布(小中学校・幼稚園・保育園)(6月下旬)
- (2) ポットマム・スプレー菊の苗配布(市民・小中学校・幼稚園・保育園・老人クラブ)(8月中旬～9月上旬)
- (3) 貴重品種「白多摩・黄多摩」の配布(小中学校)(9月中旬) *現在は日野市だけが継承している貴重な品種を栽培、配布しています。
- (4) 菊講習会の開催(6月～8月)
 - ①菊のさし芽講習会(6月中旬) …… 菊のさし芽の方法を学びます。
 - ②大菊(福助)の育て方講習会(7月中旬) …… 大菊(福助)の育て方の基本を学びます。
 - ③ポットマム・スプレー菊の育て方講習会(8月上旬) …… 菊の育て方の基本を学びます。

III. 緑化推進に関する調査研究

- (1) 壁面緑化について
- (2) 公園の落ち葉を利用した地域での堆肥づくりについて
- (3) 雑木林の管理方法について

IV. 受託事業

●市内121ヶ所公園の清掃(年間)

日野市から委託をうけた市内121ヶ所の公園を、愛護会やボランティアの方々の協力を得て清掃しています。
(基本;毎月2回清掃、年間2回除草)

●まちなみ等安全緑化事業

公園等を外から見た安全対策事業

*各事業の詳細については、緑化協会にお尋ね下さい。

V. 収支予算一覧表

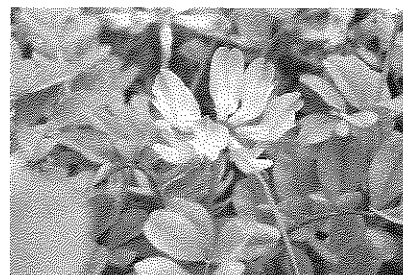
一 般 会 計			
収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	決 算 額 (円)	科 目	決 算 額 (円)
基本財産運用収入	600,000円	普及啓発費	2,628,000円
事業収入	699,000円	事業活動費	14,768,000円
補助金等収入	49,336,000円	調査研究費	30,000円
寄附金収入	1,141,000円	受託事業費	16,900,000円
雑収入	2,000円	管理費	18,342,000円
前期繰越収支差額	1,000,000円	予備費	110,000円
収入合計	52,778,000円	支出合計	52,778,000円



山野草盆栽水石展



子ども昆虫教室



レンゲ観察会

平成17年度 事業報告・収支決算

I. 緑化推進に関する啓発普及事業

1. 春・秋の緑化月間

①山野草盆栽水石展(179点/336名入場) ②自然観察会(参加者17名) ③緑のリサイクル(668点/85名参加) ④ガーデニングコンテスト&環境展 ⑤菊花コンテスト(357点/市民一般の部48名参加/団体の部29団体参加) ⑥緑の写真展(66点/25名参加) ⑦その他

2. 会報「緑のまち」発行(第31号) 3. 作文集「緑のまち」発行(600部) 4. 緑化講習会開催(7回開催/189名参加)

5. 「さくらの集い」開催(約800名来場) 6. 「スプリングフェスタひの」開催(約5,500名来場) 7. 緑の募金

8. 子ども昆虫教室(参加者49名) 9. コスモスアベニュー事業(日野市と共催)(616名参加)

II. 緑化推進に関する事業活動

1. 公園・公共施設等への植付け用花卉の栽培および植付け(60,267株)

2. 花の交流広場の実施(配布94名/提供種子1,685袋) 3. 菊花栽培事業(19,873本) 4. レンゲ畑の再現事業

III. 緑化推進に関する調査研究

1. 公園の落ち葉を利用した地域での堆肥づくり 2. 壁面緑化について 3. 安全緑地、雑木林の管理について

IV. 受託事業

1. 公園清掃および管理事業(120の公園を実施,愛護会67ヶ所/直営53ヶ所)

2. まちなみ等安全緑化事業(日野中央公園北側交差点角)

V. 収支決算一覧表

一 般 会 計			
収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	予 算 額 (円)	科 目	予 算 額 (円)
基本財産運用収入	597,408円	普及啓発費	2,329,378円
事業収入	1,162,930円	事業活動費	14,074,073円
補助金等収入	49,507,481円	調査研究費	11,751円
寄附金収入	1,412,230円	受託事業費	17,198,788円
雑収入	120円	管理費	17,053,737円
前期繰越	3,566,870円	予備費	0円
		固定資産取得支出	1,156,810円
収入合計	56,247,039円	支出合計	51,824,537円
		次期繰越	4,422,502円

春の緑化月間トピックス

■ ガーデニングコンテスト&写真展 6月4日(日)



日野市長賞受賞 青山 宅

緑と花のあるまちづくり、環境に配慮したまちづくりを目指すため、ガーデニングコンテストと写真展を始めから、今年で2回目を向かえました。

市内の家庭で丹精込めて作られた花いっぱいの庭や花壇、生垣などの写真を数多くの方からガーデニングコンテストに応募いただきました。

今年は、より多くの方に見ていただくため「日野市民ふれあい福祉まつり」の会場内で入選者の表彰式と写真展を行い、腐葉土、乾燥肥料、固形肥料の販売も行いました。

ガーデニングコンテスト入賞者

賞	氏名
日野市長賞	青山 博子
日野市議会議長賞	黒田 ミツ子
日野市環境緑化協会理事長賞	島村 淳子
審査員特別賞(ローズガーデン賞)	川真田 みどり
奨励賞(ステップガーデン賞)	秋田 トヨ子
奨励賞(ステップガーデン賞)	久保田 和子
奨励賞(ストリートオープンガーデン賞)	佐藤 洋児
奨励賞(マザーガーデン賞)	安原 公子
コミュニティーガーデン賞	小構公園(小構公園愛護会)
コミュニティーガーデン賞	旭が丘鉄塔下(旭寿会)
コミュニティーガーデン賞	日野市立第四中学校
コミュニティーガーデン賞	日野市立東光寺小学校
癒しガーデン賞	日野市立病院



審査員：渡辺さくら(グリーンアドバイザー東京)、佐藤哲信(NPO日本公開庭園機構)、熊沢橋一郎(日野緑進会)

■ ひのの春を楽しむ会



◎ スプリングフェスタひの

第4回「スプリングフェスタひの」が4月1日(土)、2日(日)の二日間に渡り日野中央公園で盛大に行われました。桜の開花が心配されましたが、桜はちょうど満開でとても良かったです。当協会テントでは、花の無料配布(先着400名)が行われ、大盛況でした。芝生の広場では、フリーマーケットや市内商工業者による模擬店が出店、夜には提灯を点灯し楽しんでいただきました。メインステージでは、小川はる子歌謡ショー、久木田薫チェロコンサート、ハワイアンバンドとフラダンス、マジックショー、お囃子、など、色々な催しが行われ、約5,500人の人で賑わいました。

◎ さくらの集い

(堤防に植えたオオシマザクラのお祭り)

4月9日(日)日野橋下流多摩川右岸河川敷で「さくらの集い」が行われました。オオシマザクラの植樹から早いもので6年目を迎え、大きくなった桜を見て楽しんでいただくため、各種催し物、出店、防犯、防火のお話、起震車体験、自動車展示など、色々な催しが行われ、約800の人々に楽しんでいただきました。



秋の緑化月間行事

▶ 期間 平成18年10月29日～12月18日

菊花展

菊薫る秋、今年も協会で配布したポットマム・スプレー菊が市民の方々の手によって素晴らしい花を咲かせ、皆様のお越しをお待ちしています。また、市で育てた大菊・懸崖のほか珍しい菊も展示いたしますので、お誘いあわせの上、是非お出かけ下さい。



● 配布苗菊花コンテスト

10月29日(日)～11月8日(水) 市民プラザ(市庁舎前)

小学校の部・老人クラブの部・市民一般の部に分け、それぞれが丹精込めた作品を展示します。皆さんの努力で立派に育った菊をお楽しみ下さい。

● 表彰式 11月8日(水) 午後2:00～ 市民プラザ(市庁舎前)

コンテスト参加作品のうち、日野市長賞・緑化協会理事長賞等38点を表彰します。

● 古典菊・大菊の展示 10月25日(水)～11月24日(金) 市民ホール(市役所1階)

大菊や古典菊の肥後菊・嵯峨菊・江戸菊など、約200点を展示します。

● 菊友会菊花展 10月29日(日)～11月6日(月) 市民プラザ(市庁舎前)

福助・達磨・盆養・切り花など、約150点を展示します。

参加者募集!

緑の写真展

12月7日(木)～12月18日(月) (閉庁日は除く)

午前8:30～午後5:15 市民ホール(市役所1階)

自然ゆたかな街、日野市。四季折々の風景は、私たちに“潤い”と“やすらぎ”を与えてくれます。皆さんの身近にある「みどり」をカメラにおさめて、気軽な気持ちで参加してみませんか!



テーマ1……『日野の四季』 テーマ2……『わが家のみどり』

*応募方法 どちらも11月17日(金)までに、協会へ郵送か持参

講習会

稲わら竹細工講習会 12月5日(火) 午前9時～正午

自然の材料稲わらや竹を使い、わらポッチや一輪挿しなど風情のあるものを手作りします。



正月の寄せ植え講習会

12月14日(木) 午後2時～4時

新春を華やかに演出する“春節り”協会では松・竹・梅に寒菊や南天を添えて、豪華な寄せ植えを、皆さん自身で仕立てるお手伝いをいたします。

● 詳しくは、11月1日発行の「広報ひの」をご覧ください。

お問合せ

(財)日野市環境緑化協会

日野市神明2-13-1 ☎ 585-4740

小学生からの提案

市内の小学生四、五、六年生を対象に募集した作文「緑のまち」に、一、四一九名の児童から応募がありました。学年別では四年生・六二九名、五年生・八四一名、六年生・九四九名でした。この中から、入選作一三〇編が選ばれました。ここに優秀賞の中から三作品と、審査をいただきました審査委員長の講評を掲載します。

なお、入選作一三〇作品については、別に作文集として発行します。

メダカと自然に 出来る事

日野第一小学校

四年一組 岩澤 遥

メダカは日野市の川に一匹きもない。なぜいないのでしょうか？

わたしの家ではメダカをかっています。最初はお祭りのメダカすくいでとってきたメダカを金魚ばちに入れましたが、すぐに死んでしまいました。弟がないてしまったので、ペッ

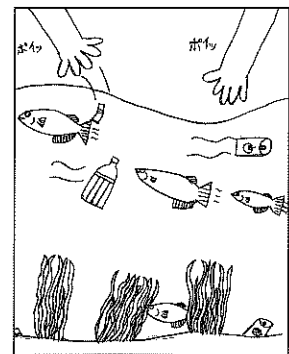
うか。木々や草花も水草と同じで太陽の光に当たって息をして元気に育ちます。植物が太陽の光に当たっている時は、二さん化したんをすってさんそを出してくれています。植物に太陽の光が当たるという事はメダカにとってもわたしたちにとってもとても大切な事なのです。

人々が家などで使った生活水を川に流したり、ゴミをすて、川をよごして来しました。

日野市は水再生センターで、使った水をきれいにしているので、川は昔よりきれいになって来ています。

という事は、川のじょうたいが水草なども元気に育つ事の出来るかんきょうになれば、再びメダカが日野市の川にもどって来るかもしれない。ということなんです。わたしはその日が来るのがとても楽しみです。だから、わたしは川や自然がよごれないように気を付けて行きたいと思います。ちなみに、わがやのメダカはまだ元気にくらしています。卵からかえった小さなメダ

かもすくすくと元気に育っています。



大昌寺のけやき

日野第一小学校

五年二組 大久保朝子

私の家のとなりには大きなけやきの木がある。大昌寺のけやきで、樹齢三百年、建物五階分の高さがある。一小からも見える。

去年の秋に引っ越して来たころ、けやきの葉が山のようにふつてきて、そうじするの大変だった。でもけやきの葉を必要としている人もたくさんいた。となりのおじさんは、野菜のくずとまぜて腐葉土を作ると言っていた。やがて葉が全部落ちて、枝

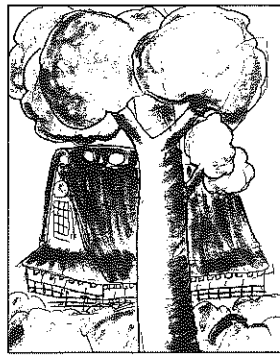
だけになったころ、カラスの巣が二つあることに気がついた。ゴミをねらうカラスはここに住んでいることが分かり、秘密を知ったような気がした。春になると、黄緑色の若葉が出てきて、あっという間に向こうの空が見えなくなった。カラス、ムクドリ、スズメ、ハトなどの鳥が飛び交うようになり、にぎやかになってきた。

夏休みに入るとけやきはますます青々として大きくなつたような気がした。私の家ではあまり冷房をつけない。なぜなら緑の間を通ってきた風は涼しくて、気持ちがいい。健康にもいいからだ。

ときどきとなりのおじさんがいんげんや大葉を持って来てくれる。それはけやきの葉で作った腐葉土で育った野菜だ。やわらかくておいしかった。秋にふつてきたけやきの葉はゴミと思ったけれど、こんな所でリサイクルされて役立つているのだと感心した。この間、玄関のかべにゴキブリがいると思ったら黒々と

したノコギリカミキリだった。庭のしばふには、ショウリョウバッタとコオロギの赤ちゃんがはねている。きつと緑に囲まれて環境がいいからだと思はう。

緑は空気をきれいにする。目にやさしいし、鳥や虫とふれあうことで心もやさしくなる。大昌寺のけやきのおかげで私は自然とふれあえている。古い木を大切に、もっともつと身の回りに緑をふやさなくてはと思った。



四年目の夏

日野第七小学校

六年四組 木村実可子

二年生の夏のこと。空を見ていると上から、フワフワと

綿毛のようなものがまいおりてきて、私は両手でそれをパシッとつかまえました。それは枝分かれしていて、よく見るとまん中にリングがありました。大きさは四センチくらい。初めて見る不思議なものでした。

そして、この夏。同じ物を見つけました。調べてみると、『鬼女蘭』か『アザミ』の冠毛かもしれないということが分かりました。本当のことは分かりません。この辺りでは、鬼女蘭やアザミは高尾山に生育しているらしいので高尾からこの日野の私の所まで飛んできたのかと思うと、すごいなと思いました。風によって、高尾山の野草の種が日野に運ばれ、また風にのり、他の所に行くなんて緑の大循環なんだなと思ひ、またそれを感じられてうれしかったです。日野の川もわき水も、他の場所から流れてきて、また他の場所から流れていく、水の大循環。自然は大きく動いているんだなと実感しました。

小学校最後の夏。今までの

夏と変わらずにセミは鳴いています。お祭りの夜、セミの羽化を見ました。緑地にはクマゼミ、ツクツクボーン、ヒグラシが鳴いていました。中央公園ではアブラゼミとミンミンゼミが多く感じられます。私は、友達とプールに行ったり、サイクリングをしたり、図書館に行ったりして過ごしています。地図を見ると犬の横顔ににている日野市。多摩川と浅川が流れ、かわせみがいいて、わき水も百以上ある日野も、そこに住む私たちも自然の大循環の中に生きています。緑の町を作っていくためには、日野市を自然の一部として考えることも大切だと思います。私は平山から見た日野の町並みや桜並木が大好きです。



緑のまちを未来につなぐ大きな力

審査委員長

日野市立潤徳小学校長 宮崎 芳子

「緑のまち」の十八年度作文応募は二、四〇〇名を超えています。はじめて子どもの作文を読み終え、あらためて日野市の緑の豊かさを実感することになりました。

作文には市内の学校や学校近くのあちらこちらに広がる豊かな水辺や緑が描かれています。こどもたちが日野市の自然を誇りに思い、これからも緑の町であってほしいという思いが込められていました。そして豊かな自然が育む木々や水や花、個性あふれる虫や鳥たちと触れ合う幸せを書いています。子どもらしいすてきな提言もありました。

長年にわたり市の緑に携わってきた行政や市民の方々の努力に敬意を賞します。また「緑の作文」という形で取り組みを続けてこられた緑化協会の努力が生きていると思います。子ども達の後には、

日野の緑を受する家族や町の人がいっぱいありました。熱心に指導した教師がいました。子どもは作文を書くことを通して、住む町に目を向けることができます。作文の種探しは、自然や人とのふれあい、そこでの楽しさや喜びを思い出させ、気づかせます。書くことで人の賢さやおろかさを学ぶことにもなるはず。中には自らゴミを拾う行動につながった子どももいます。ゴミ拾いの体験は、環境を守る一人としての自分を自覚させることでしよう。「緑の作文」は次代を担う子どもに未来を託す大きな取組みになっています。

これからも「緑の作文」を通じて、緑のわが町を守り、未来につなぐ、賢い子どもたちが育つことを願ってやみません。

花いっぱいの 旭が丘鉄塔下花壇



四季折々の花でいっぱいの旭が丘鉄塔下花壇や地域の皆さんが安らぎ集う旭が丘西公園は地元の老人会旭寿会の皆さんが愛護会として管理してくれています。

活動を拝見しますと、公園清掃で出た落葉で腐葉土を作り花壇に再利用するなど環境にやさしい活動を行っています。

美しい花、豊かな緑、憩いの場は私たちの暮らしに欠かせません。

旭寿会の皆さんには花壇緑化の推進と公園清掃美化にと様々な形で緑化協会にご協力いただいております。

「緑の募金」結果のお知らせ

今年も例年通り、4月・5月を推進月間として取り組んでまいりましたが、自治会・老人クラブ・各事業所等、多くの皆様の緑化に対する深いご理解とご協力により、たくさん募金が集まりました。

この募金は、東京緑化推進委員会に納入し、森林整備事業や地域緑化の促進等に使われるほか、一部は当協会にも還元され、市内公共施設や公園等の花壇への花卉植付けなどに役立たせていただきます。

募金総額 2,049,667円

<内訳>

自治会	974,347円
老人クラブ	130,133円
市立小・中学校	24,076円
私立幼稚園・保育園	38,764円
団体・事業所	585,282円
一般・街頭募金	165,059円
市役所機関	132,006円

ありがとうございました

お願い

●緑のリサイクル

例年4月の“緑の日”の頃、市民の皆様から不要になった植物を頂戴し、また市民の皆様にお分ける「緑のリサイクル事業」を行っております。一年を通して植物をお預かりすることは出来ませんが、是非ご家庭で春まで保管していただきご提供いただきますようお願いいたします。

●花の交流広場

一年を通じて、市民の皆様から頂いた植物の種子を協会事務所で配布しています。(無料) ご家庭でとれた植物の種子を是非ご提供下さい。また、植物の種子が必要な方は、協会事務所にお立ち寄り下さい。

<緑化協会事務所で腐葉土・乾燥肥料を販売>

- 腐葉土 公園の落葉に米ぬかを加え、切り返しをしながら2年間蓄積し、選別したものです。
- 乾燥肥料 油粕・魚粉・米ぬかを入れ、発酵させながら切り返し、夏は約2ヶ月冬は約3ヶ月かけて作ったものです。(緩効性肥料)

どちらも菊、草花、野菜等の栽培に最適です。ぜひご利用下さい。

- *腐葉土(約4ℓ)…100円
- *乾燥肥料(400g)…100円
- *固形肥料…20円
- *お徳用腐葉土(約20ℓ)…400円 (約44ℓ)…800円もあります

編集後記

♪薄紅のコスモスが秋の日の…と、40代の私にとっては馴染み深いこの歌がどこからともなく聞こえてくるような季節。ふっと気がつけばあちらこちらに歌詞どおりの薄紅色のコスモスが、と思いきや！最近では黄色や白の、色とりどりのコスモスが咲いている。か細いながらも凛として咲くその姿は、今流行の「萌え」ではないだろうか？
ん！しかし忘れてならない秋といえば、食欲の秋!!十五夜で月見団子に舌鼓をうったので、片見月にならない様に十三夜もしっかりと「団子」で月見を！と心に決める今日この頃です。

緑化協会の
アドレスが
12月1日より
変更に
なります



- 新URL
<http://www6.ocn.ne.jp/~zhryk/>
- 新E-mail
qq789ngk9@vanilla.ocn.ne.jp